



平成 26 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 アプリックス IP ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役 郡 山 龍
(コード：3727、東証マザーズ)
問合せ先 常務取締役 伊 藤 洋
(TEL. 050-3786-1715)

個別業績の前期実績との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成25年12月期（平成25年1月1日～平成25年12月31日）の個別業績につきまして、前期（平成24年1月1日～平成24年12月31日）の個別実績と比較して差異が生じたのでお知らせいたします。また、特別損失を計上いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 個別業績の前期実績との差異

(1) 平成 25 年 12 月期個別業績と前期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前期実績 (A) (平成 24 年 12 月期)	百万円 2,295	百万円 △1,783	百万円 △2,197	百万円 △3,114	円 銭 △248.18
当期実績 (B) (平成 25 年 12 月期)	2,190	△1,638	△1,568	△2,157	△171.94
増減額 (B-A)	△105	145	629	957	—
増減率 (%)	△4.6	—	—	—	—

(2) 差異の理由

売上高及び営業利益につきましては、前期実績とほぼ同水準であります。経常利益及び当期純利益の損失額が減少しております。

経常利益につきましては、主に円安による為替差益56百万円を計上したこと、及び前期に計上した営業外費用の反動から、損失額が減少しております。

当期純利益につきましては、上記要因に加え、前期に計上した特別損失の反動から、当期においても後述の特別損失を計上したものの、損失額が減少しております。

前期に計上した営業外費用につきましては、平成25年2月14日公表の「個別業績の前期実績との差異及び営業外費用の計上に関するお知らせ」を、特別損失につきましては、平成24年11月9日公表の「平成24年12月期通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 特別損失の計上

当社は、M2M関連事業に経営資源を集中投入するべく事業の再編成を行っており、当連結会計年度において事業再編成に係る損失として、貸倒引当金繰入額、減損損失及び事業整理損失引当金繰入額を計上しております。

(1) 貸倒引当金繰入額（個別）

当社連結子会社株式会社アニメインターナショナルカンパニーの経営環境、平成25年12月期の業績及び今後の業績見通し等に鑑み同社への貸付金の回収可能性を見直した結果、当該貸付金について306百万円の貸倒引当金繰入額を計上いたしました。なお、当該貸倒引当金繰入額につきましては、連結決算上相殺消去されるため、当連結会計年度の連結業績に与える影響はありません。しかしながら、平成26年1月20日付で実施した株式会社アニメインターナショナルカンパニーの全株式の譲渡により、翌事業年度から同社が連結の範囲から除外されることにより、個別財務諸表で計上している貸倒引当金を連結財務諸表でも新たに計上する必要があり、貸倒見積高が当連結会計年度末と同額と仮定した場合、翌連結会計年度において732百万円の貸倒引当金繰入額を計上することとなります。

(2) 減損損失（連結・個別）

平成26年1月に実施した当社連結子会社株式会社ジー・モード及び株式会社アニメインターナショナルカンパニーの全株式の譲渡に伴い、当該2社が当社東京本社から移転することになりましたが、当該2社が使用していた部分の将来の用途が定まっていないことから、290百万円の減損損失を計上いたしました。

(3) 事業整理損失引当金繰入額（連結）

平成26年1月31日付で当社連結子会社株式会社ジー・モードの全株式を譲渡しましたが、譲渡価額が当連結会計年度末現在の連結財務諸表上の簿価よりも低く、損失の発生が確実であることから、当該損失見込額218百万円を計上いたしました。

以上